リン酸塩緩衝液・アセトニトリル試液　リン酸二水素カリウム2.0ｇ（1.95～2.04ｇ）に水600mL及びアセトニトリル400mLを加えて溶かし、１mol／Ｌ水酸化ナトリウム試液を加えてpH７に調整する。

リン酸塩・炭酸水素ナトリウム緩衝液～レゾルシン　（略）

⑶～⑼　（略）

8　各飼料添加物の成分規格及び製造の方法等の基準

⑴～⑹　（略）

⑹ 2－デアミノ－2－ヒドロキシメチオニンイソプロピルエステル

ア　製造用原体

㋐　成分規格

含量　本品は、定量するとき、２－デアミノ－２－ヒドロキシメチオニンイソプロピルエステル（$C_8H_{16}O_3S$）として95.0％以上を含む。

物理的・化学的性質

①　本品は、無色から褐色のやや粘性のある液体である。

②　本品は、メタノール又はアセトンに極めて溶けやすく、水にやや溶けにくい。

③　本品のpHは3.5～5.0である。

確認試験

①　本品25㎎（24.5～25.4㎎）に無水硫酸銅を飽和させた硫酸１mLを加えるとき、その溶液は黄色を呈する。

②　本品５㎎（4.5～5.4㎎）に水５mLを加えて溶かし、１mol／Ｌ水酸化ナトリウム試液２mLを加え、よく振り混ぜ、ニトロプルシドナトリウム試液0.3mLを加え、再びよく振り混ぜ、30～40℃で10分間放置した後、２分間氷冷し、希塩酸２mLを加え、振り混ぜるとき、その溶液は赤色を呈する。

純度試験

①　鉛　本品0.50ｇ（0.495～0.504ｇ）を量り、鉛試験法（原子吸光光度法第１法）により鉛の試験を行うとき、その量は20μg／ｇ以下でなければならない。

②　ヒ素　本品0.40ｇ（0.395～0.404ｇ）を量り、ヒ素試験法第３法により試料溶液を調製し、装置Ａを用いる方法によりヒ素の試験を行うとき、吸収液の色は、標準色より濃くてはならない（２μg／ｇ以下）。

水分　本品約500㎎を１㎎の桁まで量り、その数値を記録し、水分定量法（カールフィッシャー法）の逆滴定法により試験するとき、その量は0.5％以下でなければならない。

定量法　本品約30㎎を0.01㎎の桁まで量り、その数値を記録し、50mLの全量フラスコに入れ、リン酸塩緩衝液・アセトニトリル試液を加えて振り混ぜた後、更にリン酸塩緩衝液・アセトニトリル試液を標線まで加えて50mLとし、試料原液とする。この試料原液５mLを全量ピペットを用いて量り、50mLの全量フラスコに入れ、リン酸塩緩衝液・アセトニトリル試液を標線まで加えて50mLとし、0.45μmのメンブランフィルターでろ過し、試料溶液とする。この溶液20μLにつき、次の条件で液体クロマトグラフ法により試験を行う。得られたクロマトグラムから２－デアミ

（新設）

リン酸塩・炭酸水素ナトリウム緩衝液～レゾルシン　（略）

⑶～⑼　（略）

8　各飼料添加物の成分規格及び製造の方法等の基準

⑴～⑹　（略）

（新設）